

2022年10月29-30日・愛知大学  
日本質的心理学会第19回大会 会員企画シンポジウム

## 現象学的人間科学の現段階

企画・司会：渡辺恒夫（東邦大学）

話題提供：田中彰吾（東海大学）

奥井遥（同志社大学）

佐々木英和（宇都宮大学）

指定討論：西村ユミ（東京都立大学）

植田嘉好子（川崎医療福祉大学）

1

### 企画趣旨

- ▶ 現象学はヴントと同時期の19世紀にブレンターノによって心理学として出発したが、その後、フッサールによる超越論的現象学の強調などのため、特に日本では哲学としてのみ認知されてきた時期があった。しかしここ半世紀、英語圏を中心にA・ジオルジやヴァン・マーネン、J・スミスらの活動によって、質的研究としての現象学的心理学・人間科学の方法論が開拓されてきている。
- ▶ 今や現象学的哲学は、虎が死して皮を残すように多くの貴重な方法論的遺産を現象学的心理学・人間科学に残し、静かに主役の座から去りつつあるといっても過言ではない。
- ▶ 本企画は、2020年大会のシンポジウム「現象学的人間科学への招待」の後を承け、ジオルジらの活動の場である「人間科学研究国際会議（IHSRC（International Human Science Research Conference）」での参加発表経験者・予定者が中心になって、現段階での現象学的人間科学の具体的な研究を紹介する。
- ▶ IHSRCは2023年に東京でも開催の予定であり、その紹介も兼ねる。

2

## 主役交代宣言：現象学的哲学から現象学的心理学・人間科学へ

本シンポジウムでは現象学哲学者は招聘しない。

日心2019公開シンポ（心理学と現象学）では哲学者を呼んだが、混乱を招いただけ。

『明日からネットで始める現象学：夢分析からコミュ障当事者研究まで』渡辺恒夫、新曜社、2021⇒

- ▶ を紹介すると、この本のめざす現象学の未来は「万人の万人による万人のための現象学」。



3

- ▶ 「本書で明らかになったように、現象学と言えば現象学哲学を意味するという時代は、とっくに終わったのです。
- ▶ 現代、日本を含む世界の哲学界の主流は分析哲学で、現象学哲学も徐々にそこへと吸収されていくのは時間の問題です。
- ▶ **現象学哲学は、虎が死して皮を残すように心理学・人間科学の方法を残して、歴史的使命を終えつつあるのです。**これからは、現象学といえば現象学的心理学を意味するという時代になるのです。
- ▶ だから本書のタイトルも、実質的には現象学的心理学なのですが、「現象学」で済ませることにしたのです。」（最終章）



4

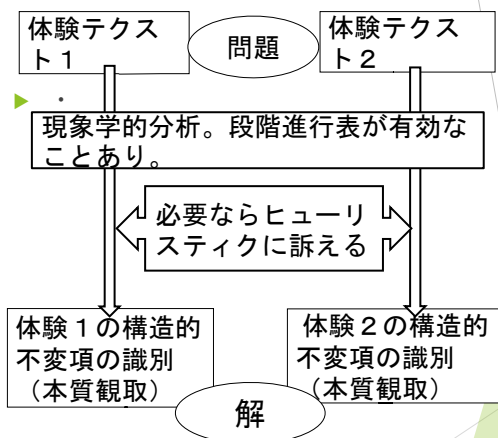
引きこもりオタクであっても現象学研究ができるという方法を目指す。

- ▶ 「哲学から独立した現象学は最も心理学らしい心理学なのです。
- ▶ なにしろ自分自身の直接経験を考察することから始める、自分を対象とした心理学なのでから。
- ▶ しかも、本書で紹介した現象学の研究法は、実験設備もなく臨床や対人支援の場もなく、研究資金さえない、引きこもりに近い身の上であっても、ネット環境さえあれば明日からでも始められる研究法なのです」(p. 182)。
- ▶ この本で紹介した研究法
  - ▶ 1. 夢日記をブログに記録して夢分析
  - ▶ 2. 「コミュ障」のネット相談事例を分析。

5

## 現象学的分析手続きのモデル化（最終章）

- ▶ 学問的認識は第一歩は比較。現象学的分析でも複数の体験テキストの比較から始める。
- ▶ 問題「コミュ障がコミュ障として成立する体験の本質は何か？」
- ▶ ヒューリスティック例：コミュ障⇒リクルのナラティブ分類
- ▶ 解「対人関係過敏が対人回避を招いている」



図VII-1 現象学的分析手続きの一般モデル

6

## 以上、現象学的人間科学の現段階への、 渡辺の最近の貢献の一端を紹介。

- ▶ 人間科学である以上、具体的な研究例の積み重ねが肝要。
- ▶ 1 昨年、今年と、研究例は各分野で着実に積み重ねられつつあるという実感を覚える。

7

## 本日の予定

- ▶ 企画趣旨説明：渡辺恒夫（東邦大学・名誉教授）（10分）
- ▶ 話題提供1：田中彰吾（東海大学・文化社会学部）  
「IHSRC2023に向けて」（20分）
- ▶ 話題提供2：奥井遼（同志社大学・社会学部）「ユトレヒト学派の実践現象学」（20分）
- ▶ 話題提供3：佐々木英和（宇都宮大学・地域創生推進機構）  
「「他者プレゼンスのスペクトラム論」（25分）
- ▶ 指定討論1：西村ユミ（東京都立大学・看護学）（15分）
- ▶ 指定討論2：植田嘉好子（川崎医療福祉大学・社会福祉学）（15分）
- ▶ フロアを含めた総合討論（15分）

8